



加西っ子の学力・学習状況の報告



加西市教育委員会では、「人生100年時代」「超スマート社会(Society5.0)」の到来を前に、加西の子ども一人一人が心豊かに将来の夢や目標をもって、自らの個性や可能性を伸ばしていくために、さまざまな取組をしています。その取組の一つとして、令和4年4月19日に実施された全国学力・学習状況調査の結果を分析し、加西っ子の学習面や生活面についてまとめました。

1 全国学力・学習状況調査について

全国の小学校6年生と中学校3年生を対象とし、国語、算数・数学、理科の学力調査や、生活習慣・学習習慣の調査が実施されました。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

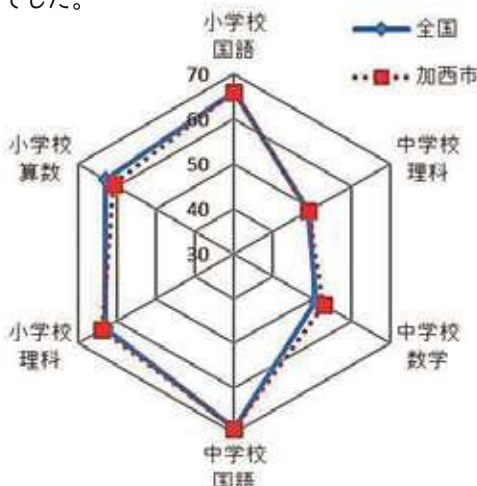
2 加西っ子の学力に関する状況について —「教科に関する調査」結果から—

小学校6年生、中学校3年生の国語、算数・数学・理科について、教科に関する調査の結果を基に、加西っ子の学力と全国平均や兵庫県平均と比べてみると以下のとおりでした。

小学校6年生

	平均正答率 (%)		
	国語	算数	理科
全国	66	63	63
兵庫県	65	64	63
加西市	66	61	64

【全国平均との比較】
 国語 … 同程度
 算数 … やや低い
 理科 … 同程度



※グラフの数値は、平均正答率を表す

中学校3年生

	平均正答率 (%)		
	国語	数学	理科
全国	69	51	49
兵庫県	69	53	49
加西市	69	53	49

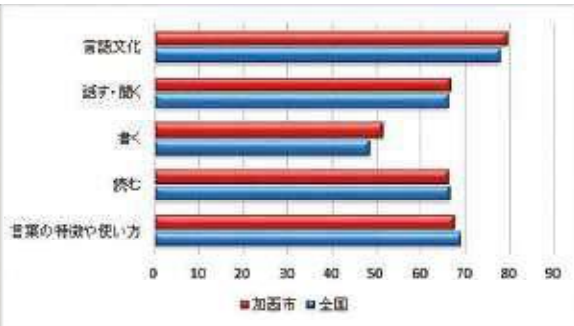
【全国平均との比較】
 国語 … 同程度
 数学 … やや高い
 理科 … 同程度

全国との差が「±0~1」を「同程度」、「±2~3」を「やや高い・やや低い」、「±4~」を「高い・低い」と表しています。

小学校

【加西市の正答率／全国の正答率】

☆本調査問題は、国立教育政策研究所のウェブページからご覧いただけます。【<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>】



課題の見られた項目・問題例



- ◆ 学年別漢字配当表に示されている漢字を **文の中で正しく** 使うことができる。
 - 「ろくが」 → 「録画」 【60.1%／65.2%】
 - 「はんせい」 → 「反省」 【56.8%／58.7%】

- ◆ **互いの立場や意図**を明確にしながらか計画的に**話し合い**、**自分の考え**をまとめる。 【48.2%／47.7%】

＜条件＞

- ① 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選び、その問題点についての解決方法を考えて書くこと。
- ② 話し合いの様子から**言葉や文を取り上げて**書くこと。
- ③ **50字以上80字以内**にまとめて書くこと。

37.3%の児童が、問題点についての解決方法を、自分で考えて書くことができませんでした。

- ◆ **文章に対する感想や意見**を伝え合い、**自分の文章のよいところ**を見付ける。 【41.9%／37.7%】

〈問題〉あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書くか。

〈条件〉

- ① **文章2のよさ**を書くこと。
- ② 文章2から**言葉や文を取り上げて**書くこと。
- ③ **60字以上100字以内**にまとめて書くこと。

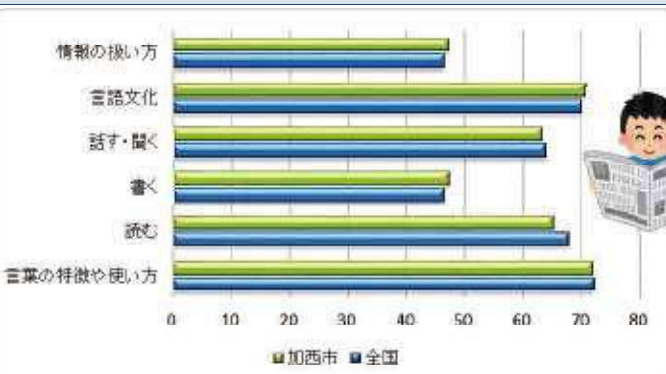
定着傾向が認められた項目・問題例

- ◇ **話し言葉と書き言葉との違い**を理解する。 【82.8%／85.5%】
- ◇ 必要なことを**質問**し、**話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと**の中心を捉える。 【85.5%／84.7%】
- ◇ **登場人物の相互関係**について、描写を基に捉える。 【71.6%／70.6%】
- ◇ **漢字や仮名の大きさ、配列**に注意して**書く**。 【79.5%／77.9%】



話す・聞く力や読む力は全国平均並の力が付いており、**書く力**は、全国より3%高く、**着実に力を付けています**。

中学校



課題の見られた項目・問題例

- ◆ **自分の考えが分かりやすく伝わるように**表現を工夫して話す。 【49.5%／51.8%】

〈問題〉「他の部分も話し方を工夫してみます」とあるが、あなたならどの部分をどのように工夫して話すか。

- ◆ **表現の技法**について理解する。 【44.4%／52.5%】

〈問題〉「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書く。また、それと同じ表現の技法が用いられているものを選ぶ。

42.5%の生徒が、表現の技法の名称として「**比喩(比ゆ)**」と答えることができませんでした。

- ◆ **自分の考えが伝わる文章**になるように、**根拠を明確に**して書く。 【47.3%／46.5%】

〈問題〉「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ」のすぐあとに、スマート農業の効果を書き加えることにした。あなたならどのように書くか。

〈条件〉

- ① 農林水産省のウェブページにある資料の一部から**必要な情報を引用して**書くこと。
- ② 「例えば、」に続けて書くこと。

定着傾向が認められた項目・問題例

- ◇ **文脈に即して**漢字を正しく読む。
 - 「のぞく」 → 「除く」 【88.8%／82.1%】
 - 「よろこんで」 → 「喜んで」 【83.4%／80.5%】
- ◇ **聞き手の興味・関心**などを考慮して、表現を工夫する。 【75.1%／74.7%】
- ◇ **事象や行為、心情を表す語句**について理解する。 【84.3%／84.0%】

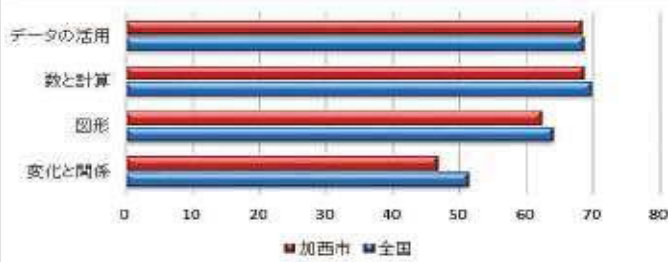
〈問題〉「途方に暮れた」の意味として適切なものを選ぶ。

情報の扱い方、言語文化、書く力が全国平均より高く、**しっかりと定着している傾向**が見られました。

小学校

【加西市の正答率／全国の正答率】

☆本調査問題は、国立教育政策研究所のウェブページからご覧いただけます。【<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>】



課題の見られた項目・問題例

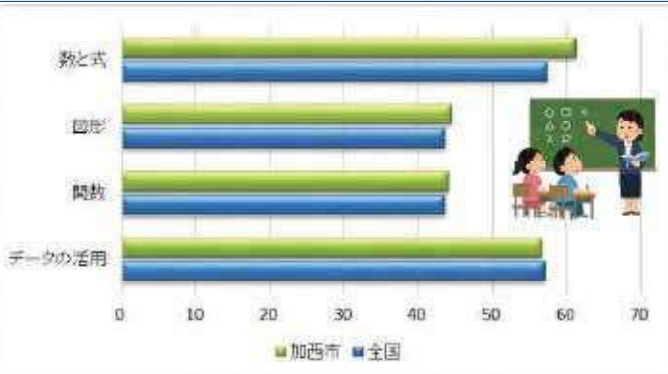
- ◆ 示された場面において、**目的に合った数の処理の仕方**を考察できる。 【30.0%／34.8%】
- ◆ 示された場面のように、**数量が変わっても割合は変わらないこと**を理解している。 【19.1%／21.4%】
 〈問題〉250mLの飲み物にふくまれる果汁の割合は？
 250mLは、500mLの1/2の量です。このとき、
 []
- ◆ 数量が変わっても割合は変わらないことを理解している児童は**19.1%**にとどまり、全体の**71%の児童が、「飲み物の量が1/2になると、果汁の割合も同様に、1/2になる」と誤って捉えていました。**
- ◆ 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、**未知の数量の求め方と答え**を記述できる。 【47.9%／48.0%】
- ◆ 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、**正三角形の構成の仕方**について考察し、記述できる。 【48.2%／48.8%】

定着傾向が認められた項目・問題例

- ◇ 示された場面を解釈し、除法で求めることができる**理由を記述**できる。 【80.2%／76.0%】
 〈問題〉Bセットのカップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを考える。そのわけを、「ゆうとさんの説明と同じように、言葉と数を使って書く。」
- ◇ 目的に応じて円グラフを選択し、**必要な情報を読み取る**ことができる。 【69.0%／66.8%】
- ◇ 図形を構成する要素に着目して、**ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解**している。 【70.6%／66.5%】

示された場面を正しく**解釈する力**、目的に応じて必要な情報を**読み取る力**、理由を**記述する力**、ひし形の性質や構成を**理解する力**などが、着実に身に付いてきています。

中学校



課題の見られた項目・問題例

- ◆ **一次関数の変化の割合の意味**を理解している。 【36.7%／37.9%】
 〈問題〉yがxの一次関数である関係を表している次の表で、変化の割合が2であるものを1つ選ぶ。
 イ
- | | x | ... | -6 | -4 | -2 | 0 | 2 | 4 | 6 | ... |
|---|-----|-----|----|----|----|---|---|---|-----|-----|
| y | ... | -5 | -3 | -1 | 1 | 3 | 5 | 7 | ... | |
- ◆ 変化の割合の意味を理解せず、イの表を選んだ生徒が**31.3%**いました。この間違いは、**変化の割合を、「表の隣り合う二つのyの値の差」と捉えた**と考えられます。
 - ◆ データの傾向を的確に捉え、判断の理由を**数学的な表現を用いて説明**することができる。 【39.6%／44.0%】
 - ◆ 事象を数学的に解釈し、**問題解決の方法を数学的に説明**することができる。 【36.1%／38.4%】
 ※ 無解答の生徒が、**27.2%** いました。
 - ◆ **筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明**することができる。 【14.4%／12.5%】
 ※ 無解答の生徒が、**45%** いました。

定着傾向が認められた項目・問題例

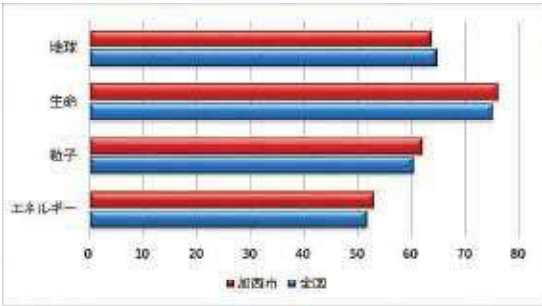
- ◇ 簡単な**連立二元一次方程式を解く**ことができる。
 〈問題〉 $2x+y=1$ $y=x+4$ を解く。 【84.7%／83.3%】
- ◇ 問題場面における**考察の対象を明確に捉える**ことができる。 【76.4%／73.8%】
- ◇ 証明の証拠として用いられている**三角形の合同条件を理解**している。 【76.0%／73.2%】

連立二元一次方程式などの**基礎的な計算力**、問題場面における**考察の対象を明確に捉える力**、図形の証明で用いる**三角形の合同条件を理解する力**などが、着実に身に付いてきています。

小学校

【加西市の正答率／全国の正答率】

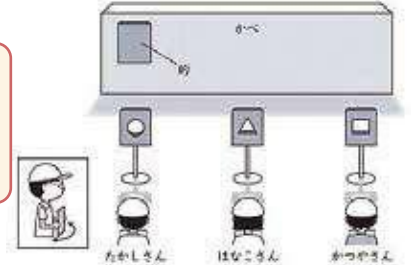
☆本調査問題は、国立教育政策研究所のウェブページからご覧いただけます。【<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>】



課題の見られた項目・問題例

◆ **日光は直進すること**を理解している。【29.9%／27.8%】
 〈問題〉3人の中で、かべの左にある的に、三角形の光をあてることのできるのはだれか。

日光が直進することを理解し、かつやさんを選んだ児童は、29.9%にとどまりました。



◆ 自然の事物・現象から得た情報を、**他者の気付きの視点で**分析して、解釈し、**自分の考えをもち、その内容を記述**できる。

【41.8%／39.3%】

〈問題〉はるとさんは、たろうさん、りかこさんの気付きを聞いて、どんな問題を発見したか。



「砂糖水をこおらせた物だから、水にしずんだのかな。砂糖水ではない、ほかの水よう液をこおらせた物でも試してみたいね。」

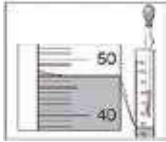
◆ 実験で得た結果を、**問題の視点で**分析して、解釈し、**自分の考えをもち、その内容を記述**できる。【36.5%／35.1%】

定着傾向が認められた項目・問題例

◇ **昆虫の体のつくり**を理解している。
 〈問題〉こん虫であることを体のつくりから説明するために、どのような写真が必要か。
 【75.3%／73.1%】



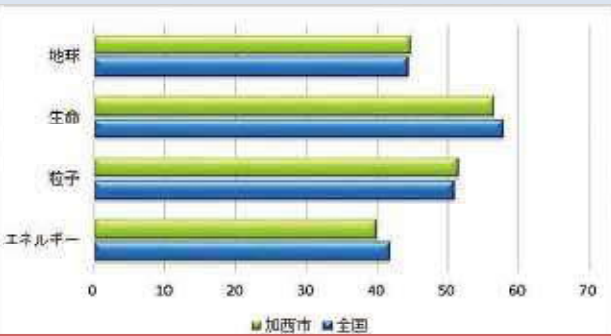
◇ **メスシリンダーの正しい扱い方**を身に付けている。
 【73.0%／70.0%】



50mLの水をはかりとるためには、このあと、どれだけの水を入れるとよいか。

◇ 問題に対する**まとめ**を導きだすことができるように、**実験の過程や得られた結果を適切に記録**している。
 【75.3%／74.4%】

中学校



定着傾向が認められた項目・問題例

◇ **変える条件と変えない条件を制御した実験を計画**できるかどうかをみる。
 【76.4%／78.5%】

課題の「水に関係しているか」に対して、**変える条件は水の有無で、それ以外の要因は変えない条件として**とらえているか。

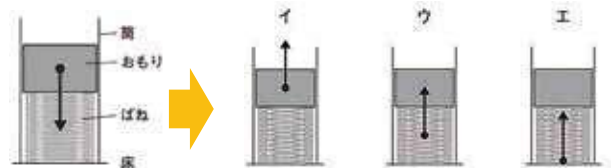


◇ **水素の燃焼**を分子のモデルで表した図を基に**化学反応式で表す**ことができるかどうかをみる。【83.1%／80.1%】
 〈問題〉水素の燃焼の化学反応式は？

◇ 節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、**体のつくりと働きを分析して解釈**できるかどうかをみる。
 【74.1%／74.5%】

課題の見られた項目・問題例

◆ **物体に働く重力とつり合う力**を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。
 【15.3%／15.3%】



全体の62.3%の生徒が、イ・ウ・エの誤答を書きました。

◆ 地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせ、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、**地層の傾きを分析して**解釈する。
 【31.6%／34.2%】

◆ 液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、**状態変化に関する知識及び技能を活用**できるかどうかをみる。
 【33.9%／35.9%】
 〈問題〉「熱をうばって蒸発する」しくみが同じ現象はどれか。

32.6%の生徒が「氷に食塩をかけると温度が下がる」現象を、**熱を奪って蒸発する現象と同じ仕組みと捉えて**誤答になりました。



3 加西っ子の生活習慣や学習習慣について —「児童・生徒質問紙調査」結果から—

子どもたちの学力は、生活習慣や学習習慣が基盤となっています。加西っ子の生活習慣や学習習慣のうち、経年比較から、安定して高い数値を出し続けていたり、本年度改善傾向が見られたりする項目があります。※ 下の表の単位は%

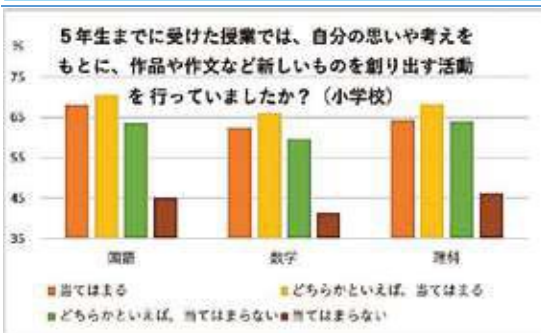
注) — 経年比較による**最高値** — 経年比較による**二番目に良い値** — 経年比較による**安定した高い数値**

令和4年度 児童・生徒質問紙

No	質問内容	小学校6年生						中学校3年生							
		H27	H28	H29	H30	H31	R3	R4	H27	H28	H29	H30	H31	R3	R4
1	朝食を毎日食べている	98	96	96	95	94	96	94	93	96	96	92	95	93	93
2	自分にはよいところがあると思う	72	76	80	90	86	82	80	58	70	73	81	76	83	79
3	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う		85	88	89	87		88		75	82	81	80		82
4	国語の勉強は大切だと思う	90	89	92		92	95	93	58	92	90		88	93	90
5	国語の勉強は、好きですか	56	54	50		63	57	52	58	62	66		57	62	60
6	算数・数学の勉強は大切だと思う	92	91	94	94	92	92	97	58	81	82	83	80	82	83
7	算数・数学の勉強は好きですか	65	65	64	61	65	70	62	58	52	55	57	59	60	56
8	読書は好きですか	62	69	65		69		71	69	66	77		68		71
9	平日、テレビゲームや携帯ゲーム等をする時間は1時間以下である	51	45	49			18	25	46	48	46			20	31
10	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	96	97	95	97	98	99	97	95	95	93	98	95	97	96

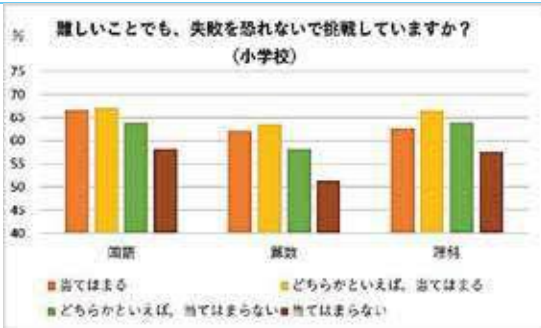
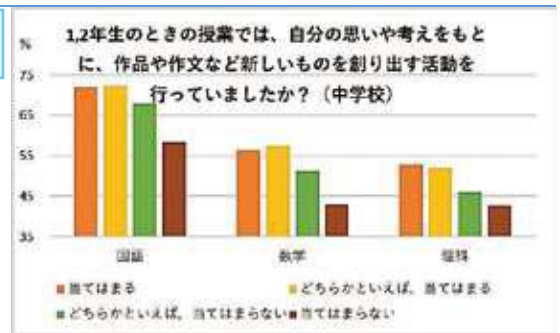
生活習慣・学習習慣の向上 → 学力の向上

※ 下のグラフの数値は、平均正答率(%)を表しています



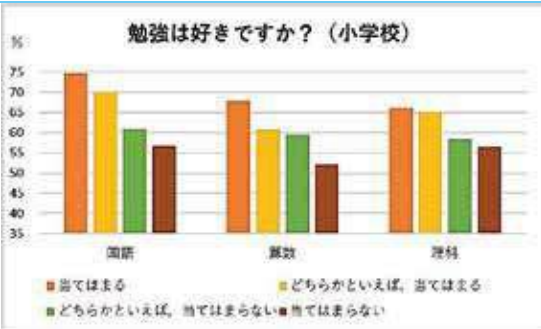
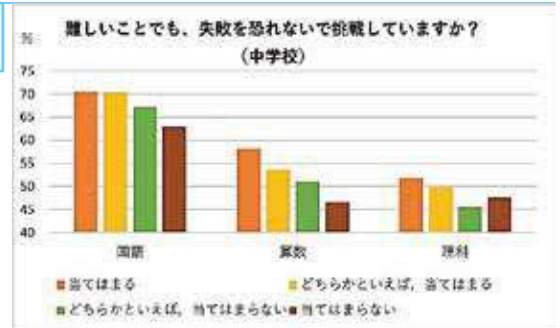
新しいものを創る力

自分の思いや考えをもとに、新しいものを作り出す活動を行ってきた児童生徒ほど、学力調査の**平均正答率が高い**傾向にありました。



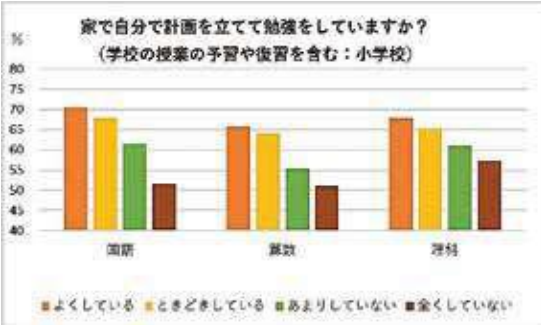
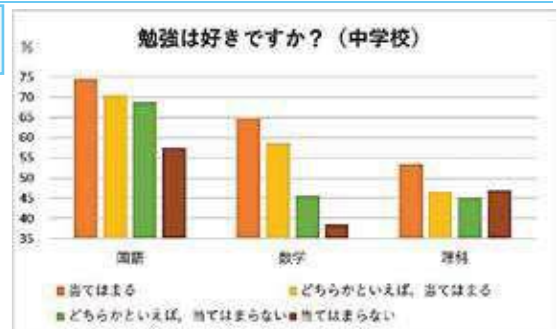
挑戦する力

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦してきた児童生徒ほど、学力調査の**平均正答率が高い**傾向にありました。



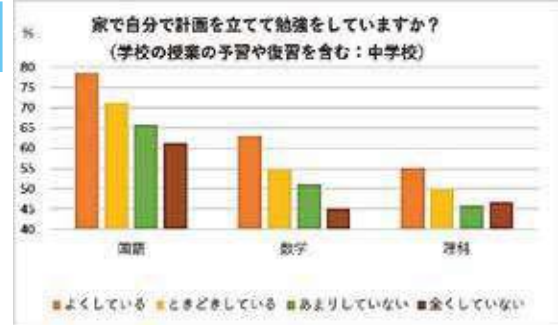
学習に対する気持ち

勉強が好きな児童生徒の方が、学力調査の**平均正答率が高い**傾向にありました。



家庭での計画的学習

家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童生徒ほど、学力調査の**平均正答率が高い**傾向にありました。



4 「加西STEAM」で次世代型人材育成へ

○ 市内全学校に STEAM Labo. (ラボ教室) を整備

STEAM Labo.

「人生 100 年時代」
「Society5.0」「SDGs」等の
社会的変化を受け、AIやIoT
等の科学技術が発達。
変化が激しく、予測が難しい
時代です。

加西市では、**探究心**をもって
学び、たくましく生き抜き
どんな環境でもしあわせにな
れる自立した人づくりを目指
します。

そのための1つのチャレンジが
**STEAM教育による次世代型
人材育成**です。

加西市教育委員会では、子
供たちの学力向上について各
学校の特色ある取組をサポート
しながら、令和4年度も
**STEAM教育を重点的に
推進**しています。

スチーム ラボ
STEAM Labo.は
いろんな学びに出会う場なんだ。
学校の外とつながる場でもあるんだよ。

私は先生、みんなを
見守ってるの
みんなどんなことに
興味があるのかな？

教室の真ん中には
360度カメラがあるよ。
教室の様子を記録して、後でみんな
振り返るのに役立つんだ。

ここでは覚えることより
どう感じたのか？
どう考えたのか？
がとても大事なんだ。
キミがどう感じたか、どう考えたかを
みんなに伝えてみよう。

加西市内の小・中・特別支援学校、公民館、総合教育センターは
もちろんのこと、市内や海外ともオンラインで結んで、**遠隔授業**が
可能となります。

○ 一人一台端末 (Chromebook) の活用



プログラミング学習



食育学習



朝学習



国語学習

○ 学校と市立図書館との連携を強化

市立図書館や各学校の蔵書を、児童生徒のタブレット端末
で検索することができるシステムができます。

加西市立図書館に所蔵している電子書籍に、児童生徒のタ
ブレット端末からアクセスができるようになります。

5 加西っ子の学力向上へ向けて

—夢や希望がふくらむリーフレットに—

このリーフレットが、加西っ子の「いま」について家庭や
地域、学校みんなで語り、加西の「未来」へつながる宝物に
なることを願っています。どうぞリーフレットを囲み、お子様と
学習や学力向上について、ありがたい将来の姿について、夢や
希望をふくらませ語り合ってください。

子どもたちは、大人自身が夢や目標へ向かって人生を楽し
んでいること、時間を忘れて大好きなことに夢中になっている
こと、そんな大人の輝く瞳に勇気や希望をもらい、学力を
伸ばしていきます。